

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2016-165894(P2016-165894A)
 【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報2016-055
 【出願番号】特願2016-40446(P2016-40446)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 2 0 3

B 4 1 J 2/01 4 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月6日(2018.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

予め定められた方向に予め定められたピッチで配列された複数の記録素子を備えた記録ヘッドを搭載し、前記記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査しながら、前記記録媒体に前記記録ヘッドからインクを吐出することにより画像を記録する記録装置であって、

前記記録ヘッドの走査方向に関する記録解像度に対応する時間を、ある駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの 1 つの記録素子と次の駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの別の記録素子とが互いに対して前記ピッチで 2 記録素子分のピッチ以上離されているように複数に分割し、該分割された時間を駆動タイミングとして設定し、前記複数の記録素子を予め定められた順序で時分割駆動する時分割駆動手段と、

前記時分割駆動においては前記複数の記録素子を近接する予め定められた数の記録素子からなる複数のグループに形成し、該複数のグループごとに前記駆動タイミングを前記分割された時間の単位で変更する変更手段とを有することを特徴とする記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

予め定められた方向に予め定められたピッチで配列された複数の記録素子を備えた記録ヘッドを搭載し、前記記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査しながら、前記記録媒体に前記記録ヘッドからインクを吐出することにより画像を記録する記録装置の制御方法であって、

前記記録ヘッドの走査方向に関する記録解像度に対応する時間を、ある駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの 1 つの記録素子と次の駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの別の記録素子とが互いに対して前記ピッチで 2 記録素子分のピッチ以上離されているように複数に分割し、

該分割された時間を駆動タイミングとして設定することにより、前記複数の記録素子を予め定められた順序で時分割駆動する際に、前記複数の記録素子を近接する予め定められ

た数の記録素子からなる複数のグループに形成し、

該複数のグループごとに前記駆動タイミングを前記分割された時間の単位で変更して、記録を行うよう制御することを有することを特徴とする制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

即ち、予め定められた方向に予め定められたピッチで配列された複数の記録素子を備えた記録ヘッドを搭載し、前記記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査しながら、前記記録媒体に前記記録ヘッドからインクを吐出することにより画像を記録する記録装置であって、前記記録ヘッドの走査方向に関する記録解像度に対応する時間を、ある駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの1つの記録素子と次の駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの別の記録素子とが互いに対して前記ピッチで2記録素子分のピッチ以上離されているように複数に分割し、該分割された時間を駆動タイミングとして設定し、前記複数の記録素子を予め定められた順序で時分割駆動する時分割駆動手段と、前記時分割駆動においては前記複数の記録素子を近接する予め定められた数の記録素子からなる複数のグループに形成し、該複数のグループごとに前記駆動タイミングを前記分割された時間の単位で変更する変更手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また本発明の他の側面からすれば、予め定められた方向に予め定められたピッチで配列された複数の記録素子を備えた記録ヘッドを搭載し、前記記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査しながら、前記記録媒体に前記記録ヘッドからインクを吐出することにより画像を記録する記録装置の制御方法であって、前記記録ヘッドの走査方向に関する記録解像度に対応する時間を、ある駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの1つの記録素子と次の駆動タイミングで駆動される前記複数の記録素子のうちの別の記録素子とが互いに対して前記ピッチで2記録素子分のピッチ以上離されているように複数に分割し、該分割された時間を駆動タイミングとして設定することにより、前記複数の記録素子を予め定められた順序で時分割駆動する際に、前記複数の記録素子を近接する予め定められた数の記録素子からなる複数のグループに形成し、該複数のグループごとに前記駆動タイミングを前記分割された時間の単位で変更して、記録を行うよう制御することを有することを特徴とする制御方法を備える。